

飼育日誌



(令和5年7月1日～12月31日)

7/2	インドホシガメ	産卵あり(個体不明)。
7/3	タンチョウ	お市♀ 右羽軸出血、下嘴変形。
	ミニチュアホース	エルフィー♀ 夕方、単管パイプに絡まり失神。
7/4	ホンドリス	蜂の巣撤去に伴いリス移動(カイ♂を5番の部屋へ移動)。
	スパーバルライチョウ	大福丸♂ 足裏診察。抗生剤軟膏・ステロイド軟膏塗布。
	レッサーパンダ	ひなた♂ ミストに当たりながら寝ていた。
7/5	アムールトラ	シュウ♀ 展示場に出る。以前と同様にプール側電柵を警戒。
7/10	プレーリードッグ	群れと親子同居。
	ニホンイヌワシ	第1ペア 展示場内に捕食されたアオダイショウの死骸があった。
7/13	マーコール	ぐる♂ 右前肢跛行の様子。
7/14	ミニブタ	豚熱ワクチン接種。
7/16		悪天候のため閉園
7/24	フタコブラクダ	幸♀ レントゲン撮影実施、消炎鎮痛剤・胃粘膜保護剤・フレドフレックス・ゼンピタン内服。
	ブラッサグエノン	おえん♀ 鼻出血
8/2	アフリカタテガミヤマアラシ	おこげ♂、キッシュ♀と下展示場のトロワ♀入れ替え。キッシュ左目点眼。
8/5	ラマ	ヒロ♂ 体が濡れるのを極端に嫌う個体だが♀に散水中寄ってきて水を受けた(初)。
8/6	小動物舎爬虫類展示場	旧ブロンズトキのスペースで昆虫の展示を開始。
8/7	ジャンボウサギ	仔♂去勢手術。
8/9	カナダヤマアラシ	2頭猛暑により動物病院に緊急避難。
8/13	ホンドフクロウ	フクジロウ 体が濡れた状態で止まり台の下に挟まっていた。低体温。
8/14	アビシニアコロブス	レイア♀ 夜の動物園開園中、出産し始めるが、観察中は出産完了せず。逆子。
8/16	トナカイ	春来♂ 朝バテ気味だった。早朝にアブ等の影響で走り回ったと想定。
8/18	インドクジャク	親子(ヒナ2羽)をキジ舎向かいの小部屋に移動し、展示。
8/19	カピバラ	コムギ♂ シュートに挟み顔面と左前肢負傷。跛行あり。
8/23		観測史上最高気温38.5度。
8/25	アカカンガルー	みかん♀ 育児嚢膨らんでいる。
8/30	シバヤギ	ユバ♂ 左角鞘脱落し、出血。
8/31	トナカイ	春来♂、ルドルフ♂ 一部袋角が剥がれている。
9/1	ニホンイヌワシ	風♂ 嘴が長くなってきて食べづらそうにしている。
9/6	トナカイ	親子お散歩トレーニング。
9/12	ニホンザル	サル山 個体識別作業のため、寝室に追い込み。♂1頭去勢手術。
9/21	エリマキキツネザル	カイン♂ 雨に濡れ低体温。群れに戻すと闘争あり。
9/22	ミニブタ	とん平♀ てんかん発作。
9/23	ミーアキャット	5194♀ 朝室内の扉前で仰向けで亡くなっていた。

9/24	コツメカワウソ	全頭健康チェック。
	ライオン	マンゴー♀ 展示。
	ベニコンゴウインコ	交尾らしき行動あり。
9/26		秋フェス動物パレード練習※動物あり
9/28	ヨツユビハリネズミ	ウニ♂ X線検査。
9/30	ノジロオマキザル	チャールズ♂室内収容後、他個体に激しく威嚇される。日向♂×カオル♀、交尾確認。
10/5	アフリカゾウ	夜間ボイラー稼働。
10/9		インコ舎サッシ取付け。
10/12	トナカイ	ルドルフ♂ 発情行動確認。
10/13	ケツメリクガメ	ゴダイ♂ 3日連続でケヤキの葉の未消化便排泄。
10/14	ユキヒョウ	アサヒ♀ フレメン後のローリング確認。(発情兆候) ヒカリ♀ ワクチン接種実施トレーニング下で成功する。
10/17	フンボルトペンギン	左右赤赤×右白黒 交尾確認、産卵あり。
10/18	キリン	鳥インフルエンザ警戒期間開始。
	カナダヤマアラシ	体重測定 2頭ともに体重増。
10/22	ライオン	もず♂交尾行動。メープル♀は頑なに拒否。
	ライオン	マンゴー♀ 採食なし。吹き矢にて抗生剤を投薬。室内床面にゴムマット設置。
10/27	ツル	八角ツル舎防風ネット取り付け。
10/31	ユキヒョウ	親子分け実施。
11/2	フンボルトペンギン	今年生まれ個体2羽 採血、マイクロチップ挿入。
11/3	カピバラ	カピバラの湯っこ開始。
11/5	コモンマーモセット	イツキ♀・ずんだ♂病院移動(繁殖用♂個体受け入れのため)。
	アカカンガルー	みかんの子顔を出す。
11/6	アカコンゴウインコ	メレブ 午後、床で横臥。
11/10	フラミンゴ	本日から夜間収容開始。
	アナグマ	冬ごもり用の巣箱設置。
11/13	ホンドタヌキ	マタビ抽出物見向きせず。
11/14	トナカイ	ルドルフ♂ 両角落角。
11/15	アメリカビーバー	チャト♀ 麻酔下処置(歯切り)。
11/17	ユキヒョウ	獣舎通路内で柵越しにリヒトとアサヒの顔合わせを行う。
11/19	ホッキョクオオカミ	ニッキー♀ 収容直前に電柵を噛むが、ダメージはない様子。
11/21	グリーンイグアナ	イグリン 尾先、切断。イソジン消毒。
11/23	キリン	ケイト♂ 驚いて外へ飛び出した際、角の先端を扉上部にぶつけ皮膚が剥離し出血。
11/24	ホッキョクオオカミ	メス群 2回ほど闘争確認。
11/25	ベニコンゴウインコ	6卵目の産卵を確認。卵の位置が安定しているので♀が抱卵している可能性が高い。
11/26	キリン	♀ 発情の可能性あり。ケイト♂の追尾、フレメン活発化。清掃後収容(分離)。
11/27	アフリカゾウ	アングレット装着練習開始。
11/30	シマフクロウ	同居(仕切りを取り外す)。
12/1	シマフクロウ	アオハ♀ 右第二趾爪欠損。
12/2	シマフクロウ	中仕切り再設置。
12/3	アカカンガルー	みかん♀と仔(すだち)を♀カンガルー舎に移動。
12/4	ラマ	イヌワシ保全棟と♀カンガルー舎雪囲い設置。
12/5	フンボルトペンギン	モス♀ まだ拒絶行動が多いが、頭絡装着できた。
	オカメインコ	全羽体重測定、マイクロチップ確認。
12/6	キリン	嘴整形、下嘴欠損。
	キリン	ケイト♀ 初めての採血(針刺し)を試みたが過敏性高く採血できず。

お客さまの声

- 7/4 とても楽しく、有意義な時間を過ごせました!動物や自然についてもっと考えようと思います。ありがとうございます!!また来ます 😊🌟
- 8/15 触れるくらい近くで見られるところがよかったです。何回まわっても動物は違う動きをするから可愛い!
- 9/29 遠足の子どもたちがたくさんいて、このにぎやかさは動物園ならではのなと感じました。声の高さから楽しんでいるのがこちらまで伝わりました。
- 10/8 子どもが遊びながら学べる所や、大人が見てもすごいと思うサルの展示場、博物館みたいな骨の展示などがよかったです。デザインもすてきできれいでした。所々で飼育員の工夫がみられておもしろかった。
- 10/30 どうぶつ解説を聞きました。自分で見るより知識が深まり、教えてもらった動物が好きになりました。
- 11/1 園内ゆっくり回れて落ち着いたスペース、私のいやしスポットです。また来園します。50周年おめでとうございます。モザイクアートに写真を使って頂きました。ありがとうございます。次回も楽しみに来園します!
- 11/2 屋外で日なたぼっこをしていたライオンのマンゴーVS中に移動してほしい飼育員さんの攻防を以前見かけました。大変だろうけれど、なんだかほほえましくて、撮影した動画を定期的に見返しています。楽しい思い出を大事にしていこうと思います。

かたばた通信

2023年4月に秋田市役所に転職し、初めての配属先が大森山動物園企画広報担当になりました。右も左も分からないまま、記念すべき50周年のイベントに全力で取り組んでいるうちにあっという間に1年が過ぎてしまった印象です。

この1年で感じたことは、大森山動物園が来園者のみなさんや多くの関係者の支援から成り立っているということです。これまで動物園を支えていただいたみなさんに少しでも恩返しができるよう、これからも大森山動物園の魅力を余すことなく発信していきたいと思えます。よろしく願います!(長谷川)



発行/秋田市大森山動物園

〒010-1654 秋田市浜田字湯端154番地 TEL 018-828-5508 FAX 018-828-5509
E-mail ro-inzo@city.akita.lg.jp デザイン・印刷/秋田活版印刷株式会社

●動物取扱業者 秋田市長 穂積 志 ●事業所及び所在地 秋田市大森山動物園 秋田市浜田字湯端154番地
●登録に係る動物取扱業の種別/販売:動-3-41 貸出し:動-3-42 展示:動-3-43
●登録の年月日/2007年6月1日 ●有効期間の末日/2027年7月31日 ●動物取扱責任者/山上 昇 高橋 拓

大森山動物園

検索

<https://www.city.akita.lg.jp/zoo/index.html>